

背景

○新型コロナウイルス感染拡大の影響により航空旅客需要の低下が発生し、新たな航空旅客需要の創出としてビジネスジェット等の活用が注目された。また、『観光立国推進基本計画』等にて、地方誘客に効果の高いコンテンツ整備やビジネスジェット等の活用を含め海外からの富裕層等のシームレスな移動が求められている。

目的

○国内への参考になりうる海外の事例の把握や分析を行い、地域振興と結びつける取組等を検討するための基礎資料を作成する。

調査結果概要



○ビジネスジェット等の利用促進につながるサービス等の整理及び海外調査地域選定

- ・ビジネスジェット等は時間節約、自由な目的地選択などシームレスな移動を求める富裕層以上が利用
- ・サービス等については『空港』『ウリ』『ヤド』『アシ』『ヒト』『コネ』で整理
- ・ビジネスジェット等の来訪や、国内の地方地域の参考とすることを考慮し、以下海外10地域を選定

【調査地域】 イビザ（スペイン）、シチリア（イタリア）、サンモリッツ（スイス）、アспен（アメリカ）、プーケット（タイ）  
バリ（インドネシア）、ニュージーランド（全域）、パタゴニア（アルゼンチン・チリ）、コスタリカ（全域）、ロスカボス（メキシコ）

○10地域の事例より

『空港』（受入体制）	FBO（運航支援事業者）によるコンシェルジュサービス提供や空港内専用施設の設置（ほぼ全地域） 欧米の事例地域では来訪元は同国及び近隣国が大多数。（イビザ:97% アспен:98%（2017年））
『ウリ』（滞在価値）	複合的な「自然や遺産」、「ツーリズム」、「文化や生活スタイル」の存在（各地域） サステナブル特化（コスタリカ）、クラブカルチャー特化（イビザ）等、各地域の特色を生かす滞在価値
『ヤド』（宿泊施設）	ソフト面も充実した一棟貸の高級ヴィラや高級ホテルスイートの提供（各地域） 富裕層不動産や富裕層向けブランド店舗等の進出（アспен、サンモリッツ）
『アシ』（二次交通）	富裕層に対応した高級送迎車、ヘリコプター等によるシームレスな移動の提供（各地域） スノーツーリズム対応（サンモリッツ等）、ヘリ送迎・ツアー（ニュージーランド）、ラグジュアリーヨット（バリ）
『ヒト』（ガイド等）	ガイド、コンシェルジュ等の育成、学校設立（ニュージーランド等）、ガイド資格認定と自国民雇用（バリ） 富裕層向けツアーオペレーター（シチリア）、乳幼児教育専門サービス（サンモリッツ等）
『コネ』（売り込み）	富裕層向けプロモーション（バリ）、デジタル化への投資（シチリア）、サステナブルへの投資（アспен） 様々な観光戦略（各地域）、富裕層向けビザ発給（プーケット）等、国と地域等の連携

令和5年度調査

○国内地方空港地域において、二次交通事例を中心に調査を行い、空港利用活性化と地域振興に向けた方策を調査